

# 国際的な車両型式認証の相互承認制度(IWVTA)の概要

## 1. IWVTAの概要と期待される効果

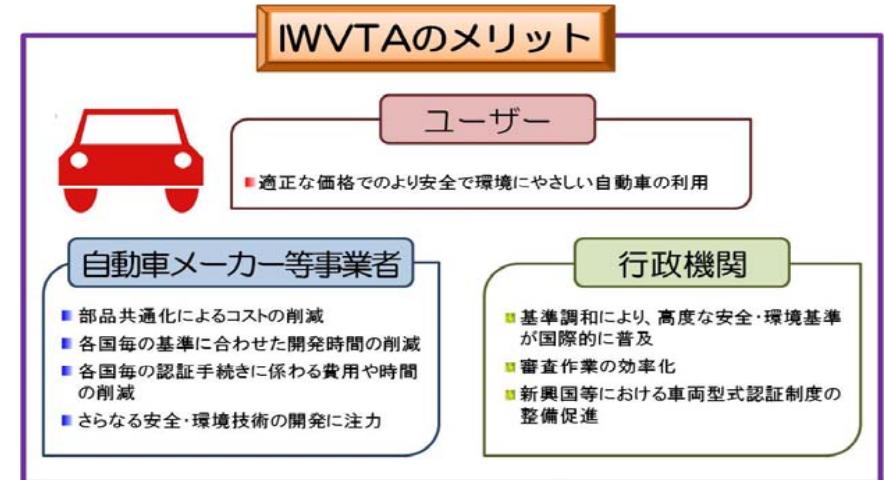
○1958年協定に基づく自動車に係る認証の相互承認を「装置単位」から、「車両単位」へ発展する制度。



(IWVTA: International Whole Vehicle Type Approval)

○基準調和及び認証の相互承認により、設計仕様の統一や部品の共通化を通じて、開発・認証・生産コストが低減。

○アジア等の新興国においても、国際的に調和のとれた車両型式認証制度の整備が促進。



## 2. 経緯と今後の展望

2007年11月 IWVTA創設の構想を国連の自動車基準調和世界フォーラム(WP29)の場で日本から発表。

2009年11月 国内の検討を重ね、IWVTA創設の提案をWP29で行い、満場一致で可決。

2010年3月 WP29の下にIWVTAの専門家会議が設置され、EU・豪州・南ア・露等各国が参加し議論が開始。  
日本と欧州委員会が共同副議長に就任し、全体の活動をリード。

2012年3月 IWVTA創設のためのロードマップ、1958年協定改正項目、IWVTAに必要な技術規則リスト等、IWVTAの大筋の枠組みに関してWP29の場で合意。

2013年3月 IWVTAの実現に必要な1958年協定改正案をとりまとめ。

2014年3月 日本主導の下、IWVTAに関する規則の一次案を提案。



2016年3月のIWVTA創設を目指して取組を進めていく